

ゆめぴか通信

「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員が作成し、情報発信する機関誌です。

1. 「第 1 回保健師研修会（県委託事業）」を開催しました！

平成 27 年 7 月 31 日（金）に保健師研修会を開催し、保健師、学生併せて 34 名の方が参加されました。

① 講話

日本看護協会保健師課の橋本結花先生をお招きし、「元気の出る保健師活動へのメッセージ」～保健師活動指針の策定を踏まえて～をテーマにご講話いただきました。

保健師活動の現状と課題、保健師活動指針からみる保健師のコア、ケース支援例からみた保健師活動、看護職の 8 大疾病（過小評価病、白馬の王子様待ちすぎ病 etc・・・）、保健師活動の価値である全体性、総合性、公共性、社会性など、橋本先生の講話には「なるほど！」がたくさん詰まっていました。

「医療では、住民が医師の戸をたたく。
公衆衛生では、保健師が住民の戸をたたく。」 By Jim Howell



橋本先生の明るく、気さくなお人柄にも元気をいただきました！

皆さんが大事にしている保健師としての元気の源は何ですか？



② ワールドカフェ

「保健師として元気で活動していくために大切にしていきたいことについて」をテーマにワールドカフェ方式でグループワークを実施しました。職域も年代も違う人同士が語り合い、一度グループメンバーをシャッフルしてからまた自分のグループに戻るといった過程で様々な化学反応が起きました。最後は 1 人ずつ「私の決意表明」を書き、これから保健師としてどうありたいかを確認しました。

✿ アンケート結果から ✿

< 講演の中で参考になったこと、自分の気づきになったこと >

- ・ 事例を踏まえながら分かりやすく講義頂き、あっという間の 2 時間だった。保健師活動指針に「コア」が入っていることを改めて学び、自身の活動の根っこになる部分を整理できたように思う。(20 歳代)
- ・ 「保健師が住民の戸をたたく」「押して、引いて、押して、押す」という言葉を聞き、保健師の積極的な働きかけが必要だなと感じた。(学生、50 歳代)

< グループワークの中で参考になったこと、自分の気づきになったこと >

- ・ 保健師が好きだな、後輩を育てていきたいなという思いに改めて気づいた。(40 歳代)
- ・ 他のスタッフと言葉を交わすことで、自分の成長につながるんだということを感じたので、職場の雰囲気づくりの大切さを学ぶことができた。(30 歳代)



今後の研修予定は、

- ① 11 月 27 日（金）：保健指導ミーティング（事例検討会）
- ② 1 月 23 日（土）：保健師研修会「保健師活動を語り継ぐ」です。ぜひご参加ください。

2. 新体制の保健師職能委員活動がスタートしました！

5月の県看護協会終了後、保健師職能委員のメンバーが入れ替わり、新体制での活動がスタートしました。

委員長：西原 洋子（県北薩地域振興局・新）

委員：須賀 栄子（JA厚生連・継）

江籠平 菊代（鹿児島市南部保健センター・継）

山中 和代（鹿児島市郡山保健福祉課・新）

瀬戸 純子（南さつま市・新）

中村 敬子（南大隅町・新）

森 隆子（鹿児島大学医学部保健学科・継）

石野 友希（県北薩地域振興局・新）

●活動目標●

保健師活動指針を踏まえての実践及び専門性を高めるための現任教育の実施

●活動方針●

①新人期を主な対象とした保健指導ミーティングの開催

②保健師の連携強化及びネットワークの構築

③保健師が主体的に活動できるように他団体等との連携を図る

1年間、このメンバーで頑張っていきます！

ご意見、ご要望などありましたら、お気軽に職能委員に声をかけてくださいね♪



会員絶賛募集中！！

皆さんの周りにまだ看護協会に加入されていない方はいらっしゃいませんか？

9月2日現在で、県内に**420名**の保健師会員がいます。

みんなで鹿児島県の保健師活動を一緒に盛り上げて行きましょう！

<http://k-kango.jp/annai/nyukai/>（県看護協会入会のご案内）をご確認いただく

または

099-256-8081（県看護協会）までご連絡ください。